

平成 29 年 8 月 1 日

各都道府県・市区町村教育長
各高等学校長
各関係教育機関所属長
各校情報教育担当者
情報教育研究者

}

殿

情報処理学会 情報教育シンポジウム SSS2017
大会委員長 辰己丈夫
(放送大学 教授)
(公印省略)

「情報教育シンポジウム SSS2017」の開催について(依頼)

情報処理学会の活動につきまして、日頃御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。さて、情報処理学会では、我が国の情報教育の充実に資するため、「情報教育シンポジウム SSS2017」を下記要領にて催行します。

つきましては、趣旨等を御理解の上、情報教育関係職員の多数の御参加について、格別の御配慮をお願い申し上げます。

なお、この「情報教育シンポジウム SSS」は 1999 年から毎年実施しているもので、文部科学省や各教育委員会に御後援いただいておりますことを、申し添えます。

記

1. 大会等の名称: 「情報教育シンポジウム SSS2017」
2. 目的・趣旨

2002 年度から小中学校における情報教育が増強され、さらに 2003 年度からは高等学校において新教科「情報」が開始されるなど、情報教育の環境は制度面からは着々と整備されつつあるように見える。しかし、教科「情報」が開始されてから 15 年目を数える現在、実際の教育現場では、急激に変化する情報社会に教育者が追いつけない、教育機関ごとに学習内容に大きなばらつきが生じているなど、本来の情報教育の目標が必ずしも達成されているとは言い難い状況にある。一方で、2011 年度から初等中等教育の学習指導要領が段階的に改訂され、次期学習指導要領の制定も視野に入れられつつある現在、情報教育の内容も現状の問題点をふまえて改訂されつつある。

また、2010 年以降、情報通信技術の高度化、特に、回線速度の向上と、映像や音声の伝達技術の共通化が進行し、さらに、携帯端末(スマートフォン)によるコミュニケーションが一般化しつつある。このような情報環境の急激な変化は、教育の現場にも多くの影響を与えている。特に、オンライン学習資源は世界中で充実し、それを利用して学習をする人も着実に増大しつつある。

コンピュータと教育研究会は、情報教育や教育の情報化に関する問題やアイデアの議論を深める場として、宿泊形式の情報教育シンポジウム SSS を 1999 年以来開催してきた。また 2010 年より SSS は教育学習支援情報システム研究会との共同開催へと移行し、情報教育、教育の情報化に関する議論の範囲をより拡大することとなった。上に述べたように、情報教育の内容や制度の変化と、学習を支援する情報システムの充実におけるさまざまな課題に対する研究を深めるため、2017 年も前年と同様、情報教育や教育学習支援システムの専門家、初等中等教育の教員を中心とする教育の専門家、教育ソフトウェア・教育コンテンツ作成に関わる企業の専門家の方々など幅広い分野の参加を募って、実り多い議論を実現することとしたい。

3. 実施期日、場所

2017年8月17日(木)から19日(土)

ウィシュトンホテル・ユーカーリ(〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカーリが丘 4-8-1)

4. 費用(情報処理学会・協賛学会の正会員, 初等中等教育機関の教員等の場合)

参加費: 12,830円、宿泊費: 16,170円

5. プログラム

8月17日(木)	
14:15-14:30	開会挨拶
14:30-18:10	セッション
20:00-21:00	招待講演: Dr. Inés Gil-Jaurena (Universidad Nacional de Educación a Distancia (UNED), Spain) “Learning analytics and open education: a pedagogical perspective”
21:00-24:00	研究討議 1

8月18日(金)	
08:40-15:50	セッション
16:00-18:00	デモ/ポスターセッション
20:00-21:20	特別講演: 喜多一(京都大学) 「教えにくい一般情報教育の内容とその解消に向けて」
21:00-24:00	研究討議 2

8月19日(土)	
08:40-11:50	セッション
11:55-12:30	表彰・閉会

6. 主催

情報処理学会 コンピュータと教育研究会、同 教育学習支援情報システム研究会

7. シンポジウム公式 Web ページ

<http://ce.eplang.jp/?SSS2017>

8. 事務担当

〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉 2-11

放送大学 情報コース 辰己丈夫 (SSS2017 大会委員長)

以上